

福島県地域医療構想（素案）からの修正箇所について

No.	編	章	節	頁	素案（パブリック・コメント案）	最終案	備考
1	1	3	1	17	<p>第1節 医療提供体制等の現状</p> <p>1 医療資源等</p> <p>(1) 医療施設数</p>	<p>第1節 医療提供体制等の現状</p> <p>1 医療資源等</p> <p>(1) 医療施設数</p> <p>○ <u>平成28年4月1日現在、薬局数は880です。</u></p>	<p>薬局数に関する文を追加。</p>
2	1	3	1	19 ～ 20	<p>第1節 医療提供体制等の現状</p> <p>(3) 医療従事者</p> <p>I 医療従事者数</p> <p>○ <u>病院医師数は2,298人、診療所医師数は1,355人です。</u></p> <p>○ <u>医療施設歯科医師数は1,341人です。</u></p> <p>○ <u>薬局薬剤師数は2,099人、医療施設薬剤師数は703人です。</u></p> <p>○ <u>病院看護師数は11,231人、診療所看護師数は1,714人です。</u></p> <p>○ <u>病院准看護師数は2,858人、診療所准看護師数は2,388人です。</u></p> <p>○ <u>病院・診療所の理学療法士数は985人、作業療法士数は580人です。</u></p> <p>図表3-1-3 医療従事者数 (項目)</p> <p><u>うち</u>医療機関附属病院医師数 病院従事<u>正</u>看護師数 診療所従事<u>正</u>看護師数</p> <p>(出典情報)</p> <p>医師数、歯科医師数、薬剤師数は「<u>医師・歯科医師・薬剤師調査</u>」(平成26年12月31日現在)</p> <p>看護師数、准看護師数は「<u>衛生行政報告例</u>」(平成26年12月31日現在)</p>	<p>第1節 医療提供体制等の現状</p> <p>(3) 医療従事者</p> <p>I 医療従事者数</p> <p>○ <u>平成26年12月31日現在、病院医師数は2,298人、診療所医師数は1,355人です。</u></p> <p>○ <u>平成26年12月31日現在、医療施設歯科医師数は1,341人です。</u></p> <p>○ <u>平成26年12月31日現在、薬局薬剤師数は2,099人、医療施設薬剤師数は703人です。</u></p> <p>○ <u>平成26年12月31日現在、病院看護師数は11,231人、診療所看護師数は1,714人です。</u></p> <p>○ <u>平成26年12月31日現在、病院准看護師数は2,858人、診療所准看護師数は2,388人です。</u></p> <p>○ <u>平成26年10月1日現在、病院・診療所の理学療法士数は985人、作業療法士数は580人です。</u></p> <p>図表3-1-3 医療従事者数 (項目)</p> <p><u>病院従事</u>医師数 (医療機関附属病院除く) 病院従事__看護師数 診療所従事__看護師数</p> <p>(出典情報)</p> <p>医師数、歯科医師数、薬剤師数は「<u>医師・歯科医師・薬剤師調査</u>」(平成26年12月31日現在、<u>有資格者数を把握したもの</u>) ※病院従事者の常勤換算については資料編に掲載</p> <p>看護師数、准看護師数は「<u>福島県看護職員就業届出状況</u>」(平成26年12月31日現在、<u>常勤換算</u>)</p>	<p>「I 医療従事者数」について時点情報を追記。</p> <p>医育機関附属病院を除いた医師数を表示するため、表の項目・数値を修正したもの。</p> <p>正確な資格の名称とするため、表の項目を修正したもの。</p> <p>出典情報に追記したもの。</p> <p>「衛生行政報告例」では方部別の数値を公表していないため、出典情報を修正したものの。</p>

No.	編	章	節	頁	素案 (パブリック・コメント案)	最終案	備考																																																								
3	1	3	1	25	<p>第1節 医療提供体制等の現状 2 病床機能報告制度 (2) 病床機能報告結果 図表3-1-1-1 平成27年度報告結果(許可病床ベース)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>1,219床</td> <td>1,230床</td> <td>11床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>12,162床</td> <td>12,159床</td> <td>-3床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>1,683床</td> <td>1,939床</td> <td>256床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>4,206床</td> <td>4,155床</td> <td>-51床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>809床</td> <td>596床</td> <td>-213床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,079床</td> <td>20,079床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 病床機能報告制度と医療需要推計・必要病床数推計ではそれぞれの「医療機能」の定義が異なるため、各機能ごとに算出される病床数は<u>単純に比較できるものではないことに注意する必要があります。</u></p>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	1,219床	1,230床	11床	急性期	12,162床	12,159床	-3床	回復期	1,683床	1,939床	256床	慢性期	4,206床	4,155床	-51床	無回答	809床	596床	-213床	合計	20,079床	20,079床	0床	<p>第1節 医療提供体制等の現状 2 病床機能報告制度 (2) 病床機能報告結果 図表3-1-1-1 平成27年度報告結果(許可病床ベース)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>1,219床</td> <td>1,230床</td> <td>11床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>12,140床</td> <td>12,146床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>1,699床</td> <td>1,943床</td> <td>244床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>4,229床</td> <td>4,178床</td> <td>-51床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1,025床</td> <td>815床</td> <td>-210床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,312床</td> <td>20,312床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 病床機能報告制度と医療需要推計・必要病床数推計ではそれぞれの「医療機能」の定義が異なるため、各機能ごとに算出される病床数は<u>単純に比較することはできません。</u></p>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	1,219床	1,230床	11床	急性期	12,140床	12,146床	6床	回復期	1,699床	1,943床	244床	慢性期	4,229床	4,178床	-51床	無回答	1,025床	815床	-210床	合計	20,312床	20,312床	0床	<p>内容を精査したため平成27年度病床機能報告結果を修正。</p> <p>表現を修正したもの。</p>
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	1,219床	1,230床	11床																																																												
急性期	12,162床	12,159床	-3床																																																												
回復期	1,683床	1,939床	256床																																																												
慢性期	4,206床	4,155床	-51床																																																												
無回答	809床	596床	-213床																																																												
合計	20,079床	20,079床	0床																																																												
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	1,219床	1,230床	11床																																																												
急性期	12,140床	12,146床	6床																																																												
回復期	1,699床	1,943床	244床																																																												
慢性期	4,229床	4,178床	-51床																																																												
無回答	1,025床	815床	-210床																																																												
合計	20,312床	20,312床	0床																																																												
4	1	3	2	26	<p>第2節 将来の必要病床数 2 将来の必要病床数 ○ 「将来の必要病床数」は、一般病床及び療養病床に入院する患者の一部が在宅医療等へ移行するなどの仮定の下での<u>推計であることに留意する必要があります。</u></p>	<p>第2節 将来の必要病床数 2 将来の必要病床数 ○ 「将来の必要病床数」は、一般病床及び療養病床に入院する患者の一部が在宅医療等へ移行するなどの仮定の下での<u>推計となっています。</u></p>	<p>表現を修正したもの。</p>																																																								

No.	編	章	節	頁	素案 (パブリック・コメント案)	最終案	備考
5	1	4	2	33 ～ 34	<p>第2節 医療機能の分化と連携 施策の方向性</p> <p>○ <u>安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、母子保健や子育て支援と連携しながら、総合的に周産期医療の質の向上を図ります。</u></p> <p>【取組の例示】</p> <p>◆ ICT（情報通信技術）を活用して救急搬送時に救急隊と医療機関の間で救急診療情報の共有を行う「救急搬送受入支援システム（e-MATCH）」を運用し、救急搬送の迅速化と救命率の向上を図る</p> <p>(略)</p> <p>◆ 周産期医療を中心に<u>女性を支援する福島県立医科大学「ふくしま子ども・女性医療支援センター」と連携し、不足が著しい産科等医師の確保・定着を図る</u></p> <p>(略)</p> <p>◆ <u>妊産婦や乳幼児を持つ保護者等の健康や育児、乳房のケア等の不安や悩みについて相談に対応する「ふくしまの赤ちゃん電話健康相談」窓口を設置</u></p>	<p>第2節 医療機能の分化と連携 施策の方向性</p> <p>○ <u>周産期医療体制及び小児医療体制の整備充実を図り、市町村が実施する母子保健と連携しながら、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。</u></p> <p>【取組の例示】</p> <p>◆ ICT（情報通信技術）を活用して救急搬送時に救急隊と医療機関の間で救急診療情報の共有を行う「救急搬送受入支援システム_____」を運用し、救急搬送の迅速化と救命率の向上を図る</p> <p>(略)</p> <p>◆ 周産期医療を中心に<u>子どもと女性の医療を支援する福島県立医科大学「ふくしま子ども・女性医療支援センター」と連携し、不足が著しい産科等医師の確保・定着を図る</u></p> <p>(略)</p> <p>(削除)</p> <p>◆ <u>病院薬剤師と薬局薬剤師が連携して、一貫した薬物療法に資する薬薬連携を促進</u></p>	<p>表現を修正したもの。</p> <p>「ふくしま子ども・女性医療センター」の役割は女性のための支援ではないため。</p> <p>薬薬連携について追記。</p>
6	1	4	3	36	<p>第3節 在宅医療の推進</p> <p>【取組の例示】</p> <p>◆ 無菌調剤処理ができる設備（クリーンベンチ）の共同利用や緩和ケア等に必要な医薬品・医療材料の提供等、在宅医療に積極的に取り組む薬局の整備の推進</p>	<p>第3節 在宅医療の推進</p> <p>【取組の例示】</p> <p>◆ 無菌調剤処理ができる設備（クリーンベンチ）の共同利用や緩和ケア等に必要な医薬品・医療材料の提供等、在宅医療に積極的に取り組む薬局の整備の推進<u>及び薬剤師の研修の支援</u></p>	<p>研修に関する文言の追加。</p>

No.	編	章	節	頁	素案 (パブリック・コメント案)	最終案	備考
7	1	4	4	38 ～ 39	<p>第4節 医療従事者の確保・養成</p> <p>【取組の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域医療支援センターにおいて、県内の医師不足の状況等を把握・分析し、医師不足及び地域偏在を解消するための施策等を企画・検討 ◆周産期医療を中心に女性を支援する福島県立医科大学「ふくしま子ども・女性医療支援センター」と連携し、…（再掲） ◆看護師等養成所の整備・運営を支援及び准看護師養成所の施設を整備 	<p>第4節 医療従事者の確保・養成</p> <p>【取組の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域医療支援センターにおいて、県内の医師不足の状況等を把握・分析し、医師不足及び地域偏在・診療科偏在を解消するための施策等を企画・検討 ◆周産期医療を中心に子どもと女性の医療を支援する福島県立医科大学「ふくしま子ども・女性医療支援センター」と連携し、…（再掲） ◆看護師等養成所の施設整備及び運営を支援 	<p>診療科に関する偏在もあるため、表現を修正したもの。</p> <p>「ふくしま子ども・女性医療センター」の役割は女性のための支援ではないため。</p> <p>看護師等養成所に准看護師養成所も含まれるため、修正。</p>
8	1	4	5	40 ～ 41	<p>第5節 県民への情報提供・普及啓発と健康づくり</p> <p>施策の方向性</p> <p>○ 生活習慣の改善においては、…、関係団体や市町村と連携し、県民の生活習慣の改善を図る周知啓発を行うとともに、特定健診・特定保健指導の実施率の向上に努めます。</p> <p>【取組の例示】</p> <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県民が自主的に無理なく健康づくりが継続できるよう、健康アプリや市町村健康づくり事業と連動させた「ふくしま【健民】パスポート」の普及・啓発 	<p>第5節 県民への情報提供・普及啓発と健康づくり</p> <p>施策の方向性</p> <p>○ 生活習慣の改善においては、…、関係団体や市町村と連携し、県民の生活習慣の改善を図る周知啓発や健康増進事業を行うとともに、特定健診・特定保健指導の実施率の向上に努めます。</p> <p>【取組の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆服薬情報を一元的に管理し、かかりつけ医等と連携するかかりつけ薬剤師・薬局の普及・啓発 <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県民が自主的に無理なく健康づくりが継続できるよう、健康アプリや市町村健康づくり事業と連動させた「ふくしま【健民】パスポート」の普及・啓発 	<p>市町村や各団体等では、健康教室や健康相談等県民の健康づくりにつながる事業を実施しているため、追記。</p> <p>「かかりつけ薬局」に関する項目を追加したもの。</p> <p>表現を修正したもの。</p>
9	1	4	6	43	<p>第6節 その他（多様な医療ニーズへの対応）</p> <p>【取組の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市町村及び保育所・幼稚園、乳幼児健診等で発達障がい児の早期発見、早期支援ができるよう研修会を開催 	<p>第6節 その他（多様な医療ニーズへの対応）</p> <p>【取組の例示】</p> <p>(削除)</p>	<p>同頁「◆発達障がい児を支援する、…の専門力向上へ向けた研修会の開催」と内容が重複するため削除する。</p>

No.	編	章	節	頁	素案 (パブリック・コメント案)	最終案	備考																																																								
10	2	1	2	52	<p>第1章 県北区域</p> <p>2 医療提供体制の現状</p> <p>(3) 一般・療養病床を有する病院の配置状況</p> <p>○ 県北区域は県内唯一の特定機能病院である福島県立医科大学附属病院があり、高度先端医療を提供するとともに、<u>救命救急センター、災害拠点病院、周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院として…</u></p> <p>(4) 病床機能報告状況</p> <p>図表 2-1-3 平成 27 年度病床機能報告</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成 27 年 7 月 1 日時点</th> <th>6 年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>719 床</td> <td>731 床</td> <td>12 床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,972 床</td> <td>3,073 床</td> <td>101 床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>423 床</td> <td>419 床</td> <td>-4 床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>448 床</td> <td>398 床</td> <td>-50 床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>228 床</td> <td>169 床</td> <td>-59 床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,790 床</td> <td>4,790 床</td> <td>0 床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成 27 年 7 月 1 日時点	6 年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	719 床	731 床	12 床	急性期	2,972 床	3,073 床	101 床	回復期	423 床	419 床	-4 床	慢性期	448 床	398 床	-50 床	無回答	228 床	169 床	-59 床	合計	4,790 床	4,790 床	0 床	<p>第1章 県北区域</p> <p>2 医療提供体制の現状</p> <p>(3) 一般・療養病床を有する病院の配置状況</p> <p>○ 県北区域は県内唯一の特定機能病院である福島県立医科大学附属病院があり、高度先端医療を提供するとともに、<u>高度救命救急センター、基幹災害拠点病院、総合周産期母子医療センター、都道府県がん診療連携拠点病院として…</u></p> <p>(4) 病床機能報告状況</p> <p>図表 2-1-3 平成 27 年度病床機能報告</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成 27 年 7 月 1 日時点</th> <th>6 年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>719 床</td> <td>731 床</td> <td>12 床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,960 床</td> <td>3,061 床</td> <td>101 床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>423 床</td> <td>419 床</td> <td>-4 床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>450 床</td> <td>400 床</td> <td>-50 床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>228 床</td> <td>169 床</td> <td>-59 床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,780 床</td> <td>4,780 床</td> <td>0 床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成 27 年 7 月 1 日時点	6 年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	719 床	731 床	12 床	急性期	2,960 床	3,061 床	101 床	回復期	423 床	419 床	-4 床	慢性期	450 床	400 床	-50 床	無回答	228 床	169 床	-59 床	合計	4,780 床	4,780 床	0 床	<p>名称を修正したもの。</p> <p>内容を精査したため平成 27 年度病床機能報告結果を修正。</p>
医療機能	平成 27 年 7 月 1 日時点	6 年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	719 床	731 床	12 床																																																												
急性期	2,972 床	3,073 床	101 床																																																												
回復期	423 床	419 床	-4 床																																																												
慢性期	448 床	398 床	-50 床																																																												
無回答	228 床	169 床	-59 床																																																												
合計	4,790 床	4,790 床	0 床																																																												
医療機能	平成 27 年 7 月 1 日時点	6 年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	719 床	731 床	12 床																																																												
急性期	2,960 床	3,061 床	101 床																																																												
回復期	423 床	419 床	-4 床																																																												
慢性期	450 床	400 床	-50 床																																																												
無回答	228 床	169 床	-59 床																																																												
合計	4,780 床	4,780 床	0 床																																																												
11	2	1	4	55	<p>第1章 県北区域</p> <p>4 医療提供体制の課題</p> <p>① 病床機能の分化・連携について</p> <p>○ <u>県立医科大学附属病院は特定機能病院として高度先端医療を提供し、県内全体の医療を支える役割があり、4 つの医療機能の区分とは必ずしも一致しないことに留意する必要があります。</u></p> <p>② 主な疾病について (がん)</p> <p>○ <u>がんについては自足率が高く完結性がありますが、…SCR が低いなど、治療体制に課題があります。</u></p>	<p>第1章 県北区域</p> <p>4 医療提供体制の課題</p> <p>① 病床機能の分化・連携について</p> <p>○ <u>県北区域では平成 27 年度における看護職員の募集人数に対する採用者数の割合が 7 割未満と非常に低くなっており、看護職員の確保に課題があります。</u></p> <p>(削除)</p> <p>② 主な疾病について (がん)</p> <p>○ <u>がんについては自足率が高く完結性がありますが、…SCR が低いなど、治療体制の検討が必要です。</u></p>	<p>意見を踏まえて、追加したもの。</p> <p>意見を踏まえて、修正したもの。(58 頁「施策の方向性」へ追加記載する)</p> <p>表現を修正したもの。</p>																																																								

No.	編	章	節	頁	素案 (パブリック・コメント案)	最終案	備考
12	2	1	4	55 ～ 56	<p>(心疾患)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心疾患の自足率が高く完結性がありますが、「冠動脈CT撮影」、「冠動脈撮影」などで… <p>④ 小児・周産期医療について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「乳幼児の入院医療体制」については自足率・SCRともに高くなっていますが、「小児の入院医療体制」は県中区域への流出が見られ、SCRも低いことから小児の入院医療体制に課題があります。 <p>⑥ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療については、救急搬送受入支援システム(e-MATCH)の圏域内での早期運用が課題です。 	<p>(心疾患)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心疾患の自足率が高く完結性がありますが、「冠動脈CT撮影」、「冠動脈造影」などで… <p>④ 小児・周産期医療について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「乳幼児の入院医療体制」については自足率・SCRともに高くなっていますが、「小児の入院医療体制」は県中区域への流出が見られ、SCRも低いことから小児の入院医療体制を<u>検討していく必要があります。</u> <p>⑥ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療については、救急搬送受入支援システム_____の圏域内での早期運用が課題です。 	<p>名称を修正したもの。</p> <p>表現を修正したもの。</p>
13	2	1	5	57 ～ 58	<p>第1章 県北区域</p> <p>5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構想区域において重点的に取り組む事項</p> <p>(1) 医療機能の確保と連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療については、救急搬送受入支援システム(e-MATCH)の運用により、救急搬送の迅速化と救命率の向上を図ります。 	<p>第1章 県北区域</p> <p>5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構想区域において重点的に取り組む事項</p> <p>(1) 医療機能の確保と連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療については、救急搬送受入支援システム_____の運用により、救急搬送の迅速化と救命率の向上を図ります。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>県立医科大学附属病院は、病床及び医師・看護師等の医療従事者を多く有していますが、本県唯一の医育機関の附属病院であるとともに特定機能病院として高度先端医療を提供する役割を担っていることを踏まえた上で、県北区域の医療機関の役割分担や人材確保について検討していく必要があります。</u> 	<p>意見を踏まえて、追加したもの。</p>

No.	編	章	節	頁	素案（パブリック・コメント案）	最終案	備考																																																								
14	2	2	5	62	第2章 県中区域 2 医療提供体制の現状 （4）病床機能報告状況 図表2-2-3 平成27年度病床機能報告 <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>100床</td> <td>106床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>3,777床</td> <td>3,712床</td> <td>-65床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>618床</td> <td>738床</td> <td>120床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,128床</td> <td>1,236床</td> <td>108床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>223床</td> <td>54床</td> <td>-169床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,846床</td> <td>5,846床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	100床	106床	6床	急性期	3,777床	3,712床	-65床	回復期	618床	738床	120床	慢性期	1,128床	1,236床	108床	無回答	223床	54床	-169床	合計	5,846床	5,846床	0床	第2章 県中区域 2 医療提供体制の現状 （4）病床機能報告状況 図表2-2-3 平成27年度病床機能報告 <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>100床</td> <td>106床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>3,778床</td> <td>3,713床</td> <td>-65床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>618床</td> <td>738床</td> <td>120床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,128床</td> <td>1,236床</td> <td>108床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>298床</td> <td>129床</td> <td>-169床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,922床</td> <td>5,922床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	100床	106床	6床	急性期	3,778床	3,713床	-65床	回復期	618床	738床	120床	慢性期	1,128床	1,236床	108床	無回答	298床	129床	-169床	合計	5,922床	5,922床	0床	内容を精査したため平成27年度病床機能報告結果を修正。
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	100床	106床	6床																																																												
急性期	3,777床	3,712床	-65床																																																												
回復期	618床	738床	120床																																																												
慢性期	1,128床	1,236床	108床																																																												
無回答	223床	54床	-169床																																																												
合計	5,846床	5,846床	0床																																																												
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	100床	106床	6床																																																												
急性期	3,778床	3,713床	-65床																																																												
回復期	618床	738床	120床																																																												
慢性期	1,128床	1,236床	108床																																																												
無回答	298床	129床	-169床																																																												
合計	5,922床	5,922床	0床																																																												
15	2	2	4	65 ～ 66	第2章 県中区域 4 医療提供体制の課題 ① 病床機能の分化・連携について ○ 県中区域は、…、 <u>患者が回復してきた際の受入病床となる回復期及び慢性期病床は不足しています。</u> ○ 県中区域の中でも特に田村地域、石川郡は、病院や病床が少なく、… ② 救急医療について ○ 救急医療については、…、 <u>病状が落ち着いた時に受入可能な回復期、慢性期病床は不足しています。</u> ③ 小児・周産期医療について ○ 小児・周産期医療については、…施設の集約化が進んでおり、 <u>分娩施設が減少しています。</u> また、田村地域、石川郡には <u>分娩施設が存在しない</u> という地域偏在があります。 ⑤ 人材確保・人材育成について ○ 県中区域は、…、東日本大震災後、比較的若手の働き盛り層の医療従事者が大きく <u>減少しましたが未だ回復しておらず、その確保には困難を極めて</u> います。	第2章 県中区域 4 医療提供体制の課題 ① 病床機能の分化・連携について ○ 県中区域は、…、 <u>病状が落ち着いてきた際の受入病床となる回復期及び慢性期病床は不足しています。</u> ○ 県中区域の中でも特に田村地域（田村市及び田村郡）、石川郡は、病院や病床が少なく、… ② 救急医療について ○ 救急医療については、…、 <u>病状が落ち着いた際の受入病床となる回復期、慢性期病床は不足しています。</u> ③ 小児・周産期医療について ○ 小児・周産期医療については…施設の集約化が進んでおり、 <u>分娩取扱施設が減少しています。</u> また、田村地域、石川郡には <u>分娩取扱施設が存在しない</u> という地域偏在があります。 ⑤ 人材確保・人材育成について ○ 県中区域は、…、東日本大震災後、比較的若手の働き盛り層の医療従事者が大きく <u>減少し未だ回復しておらず、その確保には困難を極めて</u> います。	表現を整理したもの。																																																								

No.	編	章	節	頁	素案（パブリック・コメント案）	最終案	備考																																																								
16	2	2	5	67 ～ 68	<p>第2章 県中区域</p> <p>5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構想区域において重点的に取り組む事項（施策の方向性）</p> <p>（2）主な疾病について</p> <p>○ 在宅医療を支える診療所等医師の負担軽減を図るため、各医師会が中心となりそれぞれの地域に即した在宅診療が行われるシステムづくりを<u>推進</u>します。</p> <p>（5）人材確保・人材育成について</p> <p>○ 若手医療従事者の定着を図るため、魅力ある勤務環境の整備に努めます。特に、子育て中の医療従事者に対する保育支援の充実や医師・看護師等のスキルアップに繋がる研修の<u>支援</u>を行います。</p>	<p>第2章 県中区域</p> <p>5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構想区域において重点的に取り組む事項（施策の方向性）</p> <p>（2）主な疾病について</p> <p>○ 在宅医療を支える診療所等医師の負担軽減を図るため、各医師会が中心となりそれぞれの地域に即した在宅診療が行われるシステムづくりを<u>支援</u>します。</p> <p>（5）人材確保・人材育成について</p> <p>○ 若手医療従事者の定着を図るため、魅力ある勤務環境の整備に努めます。特に、子育て中の医療従事者に対する保育支援の充実や医師・看護師等のスキルアップに繋がる研修の<u>充実</u>を支援します。</p>	表現を整理したもの。																																																								
17	2	3	5	72	<p>第3章 県南区域</p> <p>2 医療提供体制の現状</p> <p>（4）病床機能報告状況</p> <p>図表2-3-3 平成27年度病床機能報告</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>7床</td> <td>0床</td> <td>-7床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>898床</td> <td>852床</td> <td>-46床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>52床</td> <td>98床</td> <td>46床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>145床</td> <td>145床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>35床</td> <td>42床</td> <td>7床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,137床</td> <td>1,137床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	7床	0床	-7床	急性期	898床	852床	-46床	回復期	52床	98床	46床	慢性期	145床	145床	0床	無回答	35床	42床	7床	合計	1,137床	1,137床	0床	<p>第3章 県南区域</p> <p>2 医療提供体制の現状</p> <p>（4）病床機能報告状況</p> <p>図表2-3-3 平成27年度病床機能報告</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>7床</td> <td>0床</td> <td>-7床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>882床</td> <td>848床</td> <td>-34床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>52床</td> <td>86床</td> <td>34床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>145床</td> <td>145床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>35床</td> <td>42床</td> <td>7床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,121床</td> <td>1,121床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	7床	0床	-7床	急性期	882床	848床	-34床	回復期	52床	86床	34床	慢性期	145床	145床	0床	無回答	35床	42床	7床	合計	1,121床	1,121床	0床	内容を精査したため平成27年度病床機能報告結果を修正。
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	7床	0床	-7床																																																												
急性期	898床	852床	-46床																																																												
回復期	52床	98床	46床																																																												
慢性期	145床	145床	0床																																																												
無回答	35床	42床	7床																																																												
合計	1,137床	1,137床	0床																																																												
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	7床	0床	-7床																																																												
急性期	882床	848床	-34床																																																												
回復期	52床	86床	34床																																																												
慢性期	145床	145床	0床																																																												
無回答	35床	42床	7床																																																												
合計	1,121床	1,121床	0床																																																												

No.	編	章	節	頁	素案（パブリック・コメント案）	最終案	備考																																																								
18	2	3	4	76	第3章 県南区域 4 医療提供体制の課題 ③ 主な疾病について （生活習慣病） ○ 健康診断で HbA1c 等について要精検となった方の受診率を向上させる必要があります。	第3章 県南区域 4 医療提供体制の課題 ③ 主な疾病について （生活習慣病） ○ 健康診断で HbA1c 等について要精検となった方の受診率を向上させる必要があります。 （脚注） <u>HbA1c（ヘモグロビン・エーワンシー）</u> <u>HbA1cは、糖尿病の診断や病状判断上欠かすことのできない検査項目の一つであり、血糖値と同様に血中に含まれるブドウ糖の量（血糖状態）を調べることに使うもの。グリコヘモグロビンとも呼ばれ、採血から過去約1～2ヶ月間の血糖値の平均を知ることができる。</u>	HbA1c について脚注を追加したもの。																																																								
19	2	4	5	83	第4章 会津・南会津区域 2 医療提供体制の現状 （4）病床機能報告状況 図表2-4-3 平成27年度病床機能報告 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>86床</td> <td>86床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,031床</td> <td>2,053床</td> <td>22床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>285床</td> <td>294床</td> <td>9床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>745床</td> <td>748床</td> <td>3床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>83床</td> <td>49床</td> <td>-34床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,230床</td> <td>3,230床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	86床	86床	0床	急性期	2,031床	2,053床	22床	回復期	285床	294床	9床	慢性期	745床	748床	3床	無回答	83床	49床	-34床	合計	3,230床	3,230床	0床	第4章 会津・南会津区域 2 医療提供体制の現状 （4）病床機能報告状況 図表2-4-3 平成27年度病床機能報告 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>86床</td> <td>86床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,031床</td> <td>2,053床</td> <td>22床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>285床</td> <td>294床</td> <td>9床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>745床</td> <td>748床</td> <td>3床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>125床</td> <td>91床</td> <td>-34床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,272床</td> <td>3,272床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	86床	86床	0床	急性期	2,031床	2,053床	22床	回復期	285床	294床	9床	慢性期	745床	748床	3床	無回答	125床	91床	-34床	合計	3,272床	3,272床	0床	内容を精査したため平成27年度病床機能報告結果を修正。
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	86床	86床	0床																																																												
急性期	2,031床	2,053床	22床																																																												
回復期	285床	294床	9床																																																												
慢性期	745床	748床	3床																																																												
無回答	83床	49床	-34床																																																												
合計	3,230床	3,230床	0床																																																												
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	86床	86床	0床																																																												
急性期	2,031床	2,053床	22床																																																												
回復期	285床	294床	9床																																																												
慢性期	745床	748床	3床																																																												
無回答	125床	91床	-34床																																																												
合計	3,272床	3,272床	0床																																																												
20	2	4	4	88	第4章 会津・南会津区域 4 医療提供体制の課題 ⑤ 在宅医療について ○ 会津地域の一部及び南会津地域は、高齢化及び過疎化が他の地域よりも著しく_____、移動手段のない高齢者も多いため、医療機関を受診することが困難な方が増えてきています。そのため、…	第4章 会津・南会津区域 4 医療提供体制の課題 ⑤ 在宅医療について ○ 会津地域の一部及び南会津地域は、高齢化及び過疎化が他の地域よりも著しく <u>進行</u> しており、移動手段のない高齢者も多いため、医療機関を受診することが困難な方が増えてきています。そのため、…	表現を整理したもの。																																																								

No.	編	章	節	頁	素案（パブリック・コメント案）	最終案	備考
21	2	4	5	89	<p>第4章 会津・南会津区域</p> <p>5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構 想区域において重点的に取り組む事項（施策の方 向性）</p> <p>（2）主な疾病について （<u>脳卒中・急性心筋梗塞</u>）</p> <p>○ <u>脳卒中、急性心筋梗塞</u>など高度急性期の患者 は、会津若松市内の医療機関に搬送する必要があ ることから、会津地域の一部及び南会津地域から の搬送時間短縮に向けて、交通インフラの整備を 促進するとともに、ドクターカー・ドクターヘリ ・消防防災ヘリの的確な活用も含めた体制の維持 ・強化に努めていきます。</p>	<p>第4章 会津・南会津区域</p> <p>5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構 想区域において重点的に取り組む事項（施策の方 向性）</p> <p>（2）主な疾病について （<u>脳卒中</u>）</p> <p>○ <u>脳卒中</u>の高度急性期の患者は、会津若松市内の 医療機関に搬送することから、会津地 域の一部及び南会津地域からの搬送時間短縮に 向けて、交通インフラの整備を促進するととも に、ドクターカー・ドクターヘリ・消防防災ヘリ の的確な活用も含めた体制の維持・強化に努めて いきます。</p> <p>（<u>急性心筋梗塞</u>）</p> <p>○ <u>急性心筋梗塞</u>の高度急性期の患者は、会津若松 市内の医療機関に搬送することから、 会津地域の一部及び南会津地域からの搬送時間 短縮に向けて、交通インフラの整備を促進すると ともに、ドクターカー・ドクターヘリ・消防防災 ヘリの的確な活用も含めた体制の維持・強化に努 めていきます。</p>	<p>第2編について、各区 域ごとの文章の体裁 を揃えるため、表現を 整理したもの。</p>
22	2	5	2	96	<p>第5章 相双区域</p> <p>2 医療提供体制の現状</p> <p>○ 東日本大震災及び原子力災害の影響により多 くの医療機関が休止している双葉地域（広野町、 檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江 町、葛尾村）においては、<u>帰還住民や復旧・復興 に関する作業員等</u>のための医療の確保が課題 となっており、国、県、避難地域等の自治体、医 療関係団体等により構成される「双葉郡等避難地 域の医療等提供体制検討会」（平成27年9月7日 設置、以下「検討会」）において、今後の双葉地 域の医療提供体制の課題解決に向けて協議・検討 していきます。</p>	<p>第5章 相双区域</p> <p>2 医療提供体制の現状</p> <p>○ 東日本大震災及び原子力災害の影響により多 くの医療機関が休止している双葉地域（広野町、 檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江 町、葛尾村）においては、<u>帰還住民や復興関連事 業従事者、原発作業員等</u>のための医療の確保が課 題となっており、国、県、避難地域等の自治体、 医療関係団体等により構成される「双葉郡等避難 地域の医療等提供体制検討会」（平成27年9月7 日設置、以下「検討会」）において、今後の双葉 地域の医療提供体制の課題解決に向けて協議・検 討していきます。</p>	<p>表現を整理したもの。</p>

No.	編	章	節	頁	素案（パブリック・コメント案）	最終案	備考																																																								
23	2	5	2	97	第5章 相双区域 2 医療提供体制の現状 (4) 病床機能報告状況 図表2-5-3 平成27年度病床機能報告 <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>818床</td> <td>878床</td> <td>60床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>40床</td> <td>40床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>231床</td> <td>231床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>171床</td> <td>111床</td> <td>-60床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,260床</td> <td>1,260床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	0床	0床	0床	急性期	818床	878床	60床	回復期	40床	40床	0床	慢性期	231床	231床	0床	無回答	171床	111床	-60床	合計	1,260床	1,260床	0床	第5章 相双区域 2 医療提供体制の現状 (4) 病床機能報告状況 図表2-5-3 平成27年度病床機能報告 <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>822床</td> <td>882床</td> <td>60床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>40床</td> <td>40床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>226床</td> <td>226床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>270床</td> <td>210床</td> <td>-60床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,358床</td> <td>1,358床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	0床	0床	0床	急性期	822床	882床	60床	回復期	40床	40床	0床	慢性期	226床	226床	0床	無回答	270床	210床	-60床	合計	1,358床	1,358床	0床	内容を精査したため平成27年度病床機能報告結果を修正。
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	0床	0床	0床																																																												
急性期	818床	878床	60床																																																												
回復期	40床	40床	0床																																																												
慢性期	231床	231床	0床																																																												
無回答	171床	111床	-60床																																																												
合計	1,260床	1,260床	0床																																																												
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	0床	0床	0床																																																												
急性期	822床	882床	60床																																																												
回復期	40床	40床	0床																																																												
慢性期	226床	226床	0床																																																												
無回答	270床	210床	-60床																																																												
合計	1,358床	1,358床	0床																																																												
24	2	5	4	102	第5章 相双区域 4 医療提供体制の課題 ③ 主な疾病について (生活習慣病) ○ 「Ⅱ型糖尿病患者」のSCRが高い状況にあり、 <u>長引く避難生活や運動不足などに起因するもの</u> と考えられます。	第5章 相双区域 4 医療提供体制の課題 ③ 主な疾病について (生活習慣病) ○ 「Ⅱ型糖尿病患者」のSCRが高い状況にあり、 <u>長引く避難生活による生活習慣の悪化や運動不足などの影響が大きい</u> と考えられます。	発症には遺伝的要因もあり、あくまで発症を助長したという意味で表現を修正したもの。																																																								
25	2	5	5	105	第5章 相双区域 5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構 想区域において重点的に取り組む事項（施策の方 向性） (1) 医療機能の確保と連携推進 ○ <u>特に医師の確保については、全国の医科大学等 から福島県立医科大学との連携のもと、地域医療 の充実に欠かせない臨床研修医師や不足してい る診療科の医師の確保に努めます。</u> 【双葉地域】 ○ <u>帰還住民及び原発・除染作業員等の救急医療体 制を確保するため必要な二次医療機関を設置し ます。</u>	第5章 相双区域 5 将来あるべき医療提供体制を確保するために構 想区域において重点的に取り組む事項（施策の方 向性） (1) 医療機能の確保と連携推進 ○ <u>特に不足が著しい医師については、福島県立医 科大学との連携のもと、地域医療の充実に欠かせ ない臨床研修医師の確保や、不足している診療科 について全国の医科大学等から招へいするなど、 医師の確保に努めます。</u> 【双葉地域】 ○ <u>帰還住民や復興関連事業従事者、原発作業員等 の救急医療体制を確保するため必要な二次医療 機関を設置します。</u>	表現を整理したもの。																																																								

No.	編	章	節	頁	素案 (パブリック・コメント案)	最終案	備考																																																								
26	2	6	2	110	第6章 いわき区域 2 医療提供体制の現状 (4) 病床機能報告状況 図表2-6-5 平成27年度病床機能報告 <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>307床</td> <td>307床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>1,666床</td> <td>1,591床</td> <td>-75床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>265床</td> <td>350床</td> <td>85床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,509床</td> <td>1,397床</td> <td>-112床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>69床</td> <td>171床</td> <td>102床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,816床</td> <td>3,816床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	307床	307床	0床	急性期	1,666床	1,591床	-75床	回復期	265床	350床	85床	慢性期	1,509床	1,397床	-112床	無回答	69床	171床	102床	合計	3,816床	3,816床	0床	第6章 いわき区域 2 医療提供体制の現状 (4) 病床機能報告状況 図表2-6-5 平成27年度病床機能報告 <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機能</th> <th>平成27年 7月1日時点</th> <th>6年経過した 時点の予定</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>307床</td> <td>307床</td> <td>0床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>1,667床</td> <td>1,589床</td> <td>-78床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>281床</td> <td>366床</td> <td>85床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,535床</td> <td>1,423床</td> <td>-112床</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>69床</td> <td>174床</td> <td>105床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,859床</td> <td>3,859床</td> <td>0床</td> </tr> </tbody> </table>	医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減	高度急性期	307床	307床	0床	急性期	1,667床	1,589床	-78床	回復期	281床	366床	85床	慢性期	1,535床	1,423床	-112床	無回答	69床	174床	105床	合計	3,859床	3,859床	0床	内容を精査したため平成27年度病床機能報告結果を修正。
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	307床	307床	0床																																																												
急性期	1,666床	1,591床	-75床																																																												
回復期	265床	350床	85床																																																												
慢性期	1,509床	1,397床	-112床																																																												
無回答	69床	171床	102床																																																												
合計	3,816床	3,816床	0床																																																												
医療機能	平成27年 7月1日時点	6年経過した 時点の予定	増減																																																												
高度急性期	307床	307床	0床																																																												
急性期	1,667床	1,589床	-78床																																																												
回復期	281床	366床	85床																																																												
慢性期	1,535床	1,423床	-112床																																																												
無回答	69床	174床	105床																																																												
合計	3,859床	3,859床	0床																																																												
27	3			117 ～	第3編 資料編 1 将来医療需要推計 2 主たる診療科別にみた医療施設従事医師数 (略) 5 平成26年度中の救急搬送の状況 (傷病者搬送において、現場滞在時間30分以上の割合と、医療機関に4回以上受入照会を行った割合)	第3編 資料編 1 将来医療需要推計 2 病院従事者数 (常勤換算) ※123ページ 3 主たる診療科別にみた医療施設従事医師数 (略) 6 平成26年中の救急搬送の状況 (傷病者搬送において、現場滞在時間30分以上の割合と、医療機関に4回以上受入照会を行った割合)	「図表3-1-3 医療従事者数」を補足する資料を追加。 救急搬送データの出典情報を修正。																																																								

※その他、軽微な字句修正を行っている。